

令和4年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和4年7月13日 14:50~15:50	場所	本校会議室	出席 状況	評議員3名 職員7名
第2回	日時	令和4年12月14日 14:50~16:00	場所	本校会議室	出席 状況	評議員2名 職員5名
第3回	日時	令和5年3月23日 16:00~16:50	場所	本校会議室	出席 状況	評議員3名、1名は後日書面で意見 職員7名

2 学校評議員に求めた事項

宮古総合実業高校らしい、生徒の資質・能力を向上させるための効果的な地域や外部機関との連携のあり方について専門的立場からの意見を求める。

- ①地域に根ざした本校の目指す姿について
- ②学校経営について
- ③学校評価について

3 学校評議員の意見

<第1回より>

【質問】1学期の反省資料で各部の反省でAの評価が多いのは1学期だからか。それとも次の学期に向けて、良くなるか悪くなるかわからないから基準としてA評価を付けているのか。

(回答1):全体としてやり始め、進み始めて言うところで、一応ある程度順調に進んでいる、計画的に進めているというところでA評価になっている。コロナにより行事の中止や、計画が進まなかったのについてはB評価がついているかと思う。

昨年度は、今年度よりB評価が多かった。計画したものが思うように進まなかったり、できない部分やあるいは休校措置が6月にあったりとかして思うようにできないことが多かった。今年は、予定されているものはできている状況にある。

一例を紹介すると、インターンシップと言って2年生で行う就業体験について、今年は順調に進んでいるなど、我々がやりたい教育は進んでいる状況にはある。そういう意味でAの評価を付けていると考えている。

<第2回より>

・授業でノートを取ろうとして、子供たちが楽しそうに授業を受けているのが、私としても嬉しいと思います。どの学科見ても、笑いながらその勉強に取り組んでいるということが、やっぱり先生がそのコミュニケーションが取れている様子がわかりました。非常に素晴らしいと思います。

・授業の様子を見て、みんな和気藹々としてるとい感じで、一人の生徒が孤立してることはないように見え、出席率も悪くないように感じました。

・例年、御校から県立の農業大学校への進学がありますが、御校の農業関係で卒業して、農業大進学にかかわらず、島外に行って戻ってくる生徒で、地元で農業関係の就職についている生徒の評判を聞くと、この卒業生はしっかりしているというのをよく聞く。農業実習を受け入れている農家さんからの評判もとても良く、しっかりと人材育成ができています。ただ、子どもたちは、いったん外に出ると、なかなか戻りたくないようで県外でいろいろ経験した中で、地元の農業の担い手として帰ってきてほしいと期待はしている。

<第3回より>

【質問】

普通に授業を受けられないという生徒は、やはり中学や小学校から続いているということか？

(回答)

大体がそういう生徒である。入学時に中学校との情報交換を行っているが、勤怠に課題がある生徒は、小・中から課題のある生徒が多い。休みも多いので学力不足や授業に遅れががでてきたりでクラスに居づらい雰囲気が出てしまい結局、進路変更につながっている事がある。

・今回、評議員をさせていただいて、「高校の先生方、大変なんだなー」と感じた。私の仕事としては、農家さんを指導して行くなかで、農業大学校の学生の指導を行うこともあるが、技術指導より人間形成の部分の指導が多いと感じ、そこにすごくストレスがかかっている。さらに幼い子どもたちを対象にする学校の先生たちは、すごく苦勞されていると思います。

・コロナ禍や学生の成長に沿ったPTA活動となり、親としても参加率が少ない事も要因と考えています。

・入学時点で生徒の学力や家庭環境も色々ある中での入学受け入れたと思います。例えば、就学環境を良くする為にその点などを底上げする事は非現実的な事でしょうか。もちろん、多くの子どもが就学できる環境を前提としてです。

4 学校運営に反映した事項

- ・中学校での学校説明会や体験入学を行い、入学生の確保に繋げた。
- ・学校の教育活動への取組について、毎月25日に次月の行事計画を配信、学校HPをより見やすい形式に変更した。
- ・生徒指導の基準や許容範囲を見直し、より適正・公平な指導ができるようにした。

5 課題その他

- ・評議員評価の評価方法の改善。生徒の変容や評価の観点について外部評価しやすい形式の検討が必要
- ・勤怠について、生徒の実態と改善指導にむけての取組